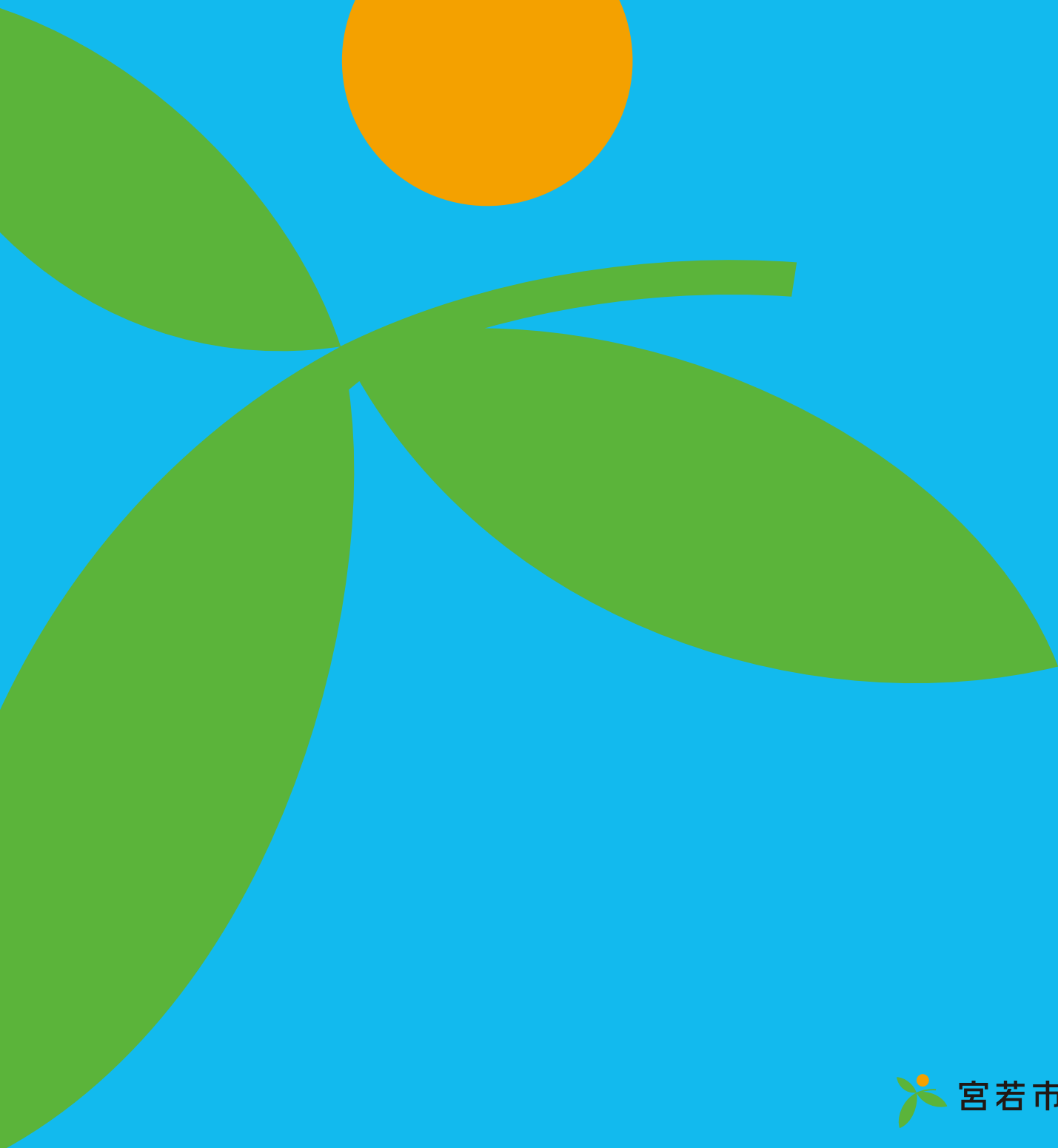


平成30年度
わかりやすい決算書

宮若市マネーブック

主要施策の成果報告書



ごあいさつ

宮若市では、市民参加による協働のまちづくりを推進するため、市民の皆さんにまちづくりに関する情報を積極的にお知らせし、情報の共有に努めております。そのひとつとして、決算の概要をわかりやすく説明した「宮若市マネーブック～わかりやすい決算書～」を作成しており、このたび、平成30年度分の決算内容をまとめたマネーブックが完成しました。

平成30年度は、新庁舎の建設や、最終年度となる東部総合運動公園整備事業等の実施により、投資的経費が増加しましたが、固定資産税の増収などにより、一般会計決算において黒字を確保することができました。

また、「第1次宮若市総合計画」が平成29年度で区切りを迎え、平成30年度より新たなまちづくりのランドデザインである「第2次宮若市総合計画」に基づいたこれからの10年間のまちづくりに向け、さらなる一步を踏み出しました。

第2次総合計画の重点プロジェクトのひとつとして掲げている定住促進施策は、定住奨励金制度などが、子育て世代の方々を中心に市内外問わず多くの皆さんから好評を得ており、また、住宅団地「光陵 WONDER ! GARDENS」の完売を受け、新たな定住ゾーンとして若宮小学校跡地の利活用を図るため、「利活用基本計画」を策定しました。さらに、教育先進のまちづくりを進める中、児童数の減少や施設の老朽化が進行している東中学校区2小学校の再編整備を目的とした「学校等整備計画」を策定し、今後、宮田光陵中学校跡地において、学校給食施設と児童保育所を併設した一体整備に取り組みます。建設中の市役所本庁舎については、防災拠点機能を有し、市民の利便性に配慮したシンプルで身の丈に合った施設として、令和2年春の開庁を目指し建設工事を進めています。また、防災対策については、雨や台風などによる災害発生時や緊急時において、市民の皆さんへ迅速かつ的確な情報伝達を行えるよう防災行政無線の運用を開始するなど、災害に強いまちづくりを進めて参りました。

宮若市は市制施行14年目を迎え、「第2次宮若市総合計画」に基づいた新たなまちづくりをスタートいたしております。これまでに築いた都市基盤や生活基盤を礎に、宮若市にある魅力を最大限に活かし、発展させ、さらに創造しながら、一步一步着実に歩みを進め、このまちに住む皆さんが「住んでよかった」「これからも住み続けたい」と感じ、誇りを持てるような輝くふるさとづくりに向けてさらに邁進して参りますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

令和元年9月

宮若市長
有吉 裕信





はじめに

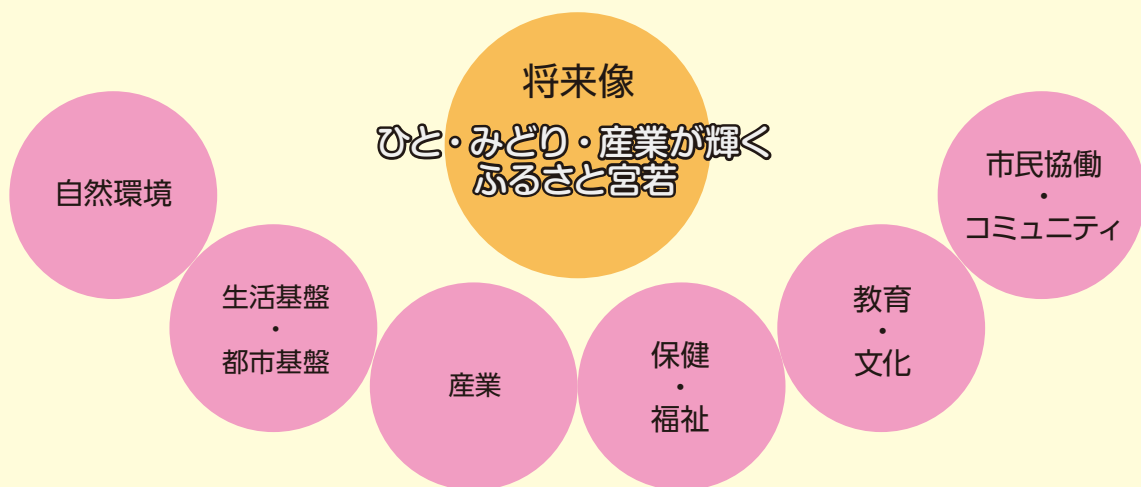
宮若市では、市民の皆さんと協働でまちづくりを行うため、市の情報を積極的に公開しており、その1つの方法として、予算書と決算書の概要版を作成し、市民の皆さんに配布しています。

このマネーブックは「第2次宮若市総合計画」で定めた6つの基本方針に基づいて構成しています。基本方針ごとに、どのような事業を行い、どれくらいのお金を使ったのかをできるだけわかりやすく紹介しています。

なお、個々の事業の内容については、直接担当課までお問い合わせください。

宮若市では「ひと・みどり・産業が輝く ふるさと宮若」を将来像としてまちづくりを行っています。この実現に向けて、6つの基本方針を定めています。

まちづくりの基本方針



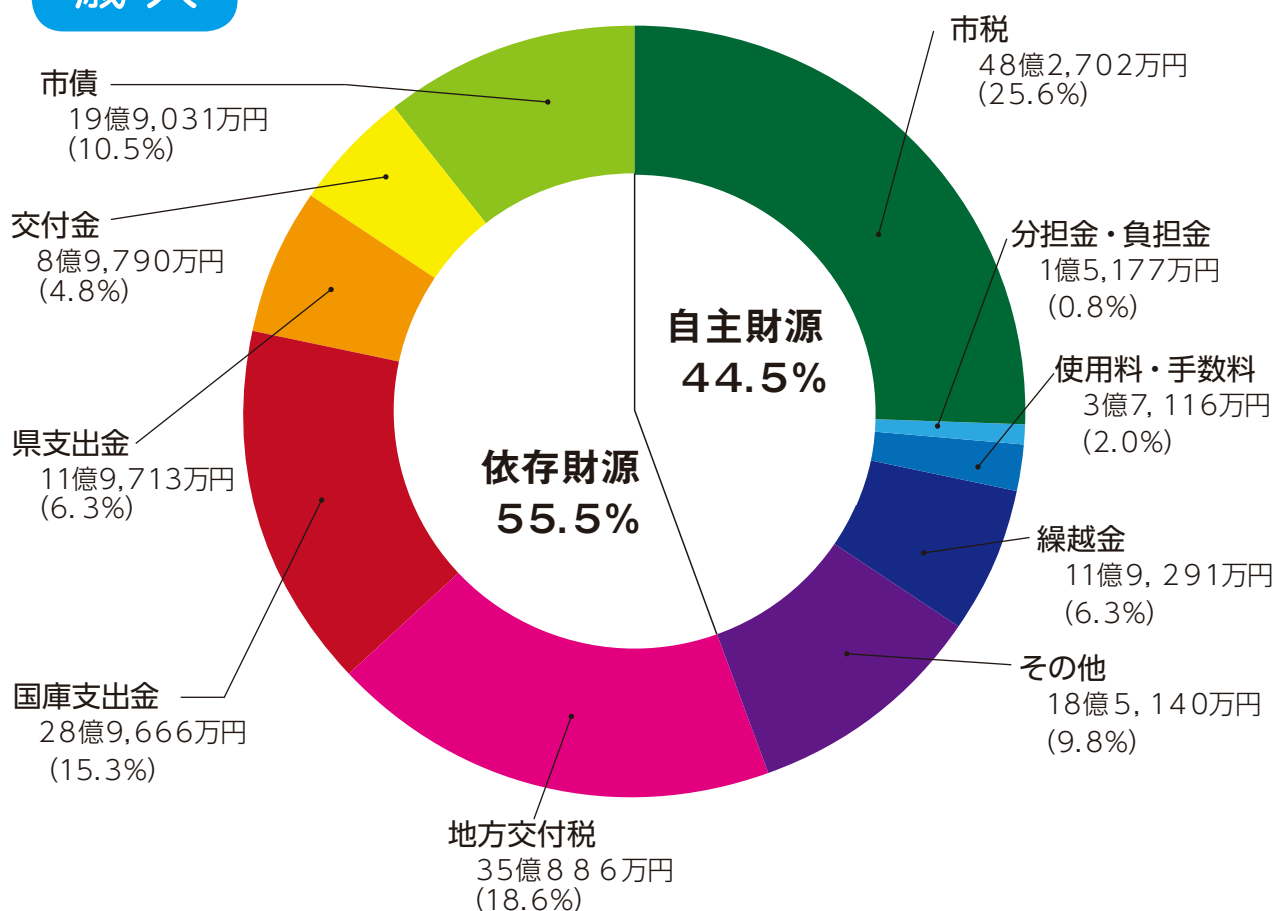
もくじ

宮若市一般会計決算	4
グラフで見る財政状況	6
第1章 自然環境 豊かなみどりが輝くふるさとを守る、自然と共生したまちづくり	8
自然環境と地域景観の保全	
廃棄物処理とリサイクル対策の推進	
上水道の安定供給	
下水道等の整備	
治山・治水・砂防対策の充実	
第2章 生活基盤・都市基盤 安全・安心で便利な暮らしを確保する生活基盤・都市基盤づくり	9
計画的な土地利用の促進	
中心拠点の整備	
定住・住宅施策の推進	
道路・交通網・生活環境の整備	
公園・緑地の整備	
消防・防災・防犯・交通安全の充実	
第3章 産業 企業誘致と立地企業の発展を支援し、活力ある産業を育て、雇用を生み出すまちづくり	11
農林業の振興	
商業の振興	
企業誘致の推進	
観光の振興	
第4章 保健・福祉 市民が健康に暮らし、高齢者や子どもを支え合う、安心な暮らしを高める社会づくり	13
社会福祉の充実	
児童・母子福祉の充実	
障がい者福祉の充実	
高齢者福祉の充実	
健康づくりの推進	
医療の充実	
第5章 教育・文化 子どもの「生きる力」を育てる学校教育と、多彩な市民交流を生む社会教育の充実	16
学校教育の充実	
スポーツの推進	
青少年の健全育成	
芸術文化活動の充実	
文化財の保護・継承	
第6章 市民協働・コミュニティ 市民とともに地域の課題解決に向けて取り組んでいく協働のまちづくり	18
市民参加の推進	
地域コミュニティの形成	
地域情報化の推進	
ふれあい交流活動の充実	
第7章 計画の推進と実現のために	19
資料 決算概要	20
ダイヤルガイド	24
宮若市市民憲章・宮若市歌「輝くふるさと」	25

平成30年度 宮若市一般会計決算

歳入	188億8,512万円
歳出	179億8,751万円
差引	8億9,761万円

歳入



自主財源 44.5% (前年度比 +2.7%)

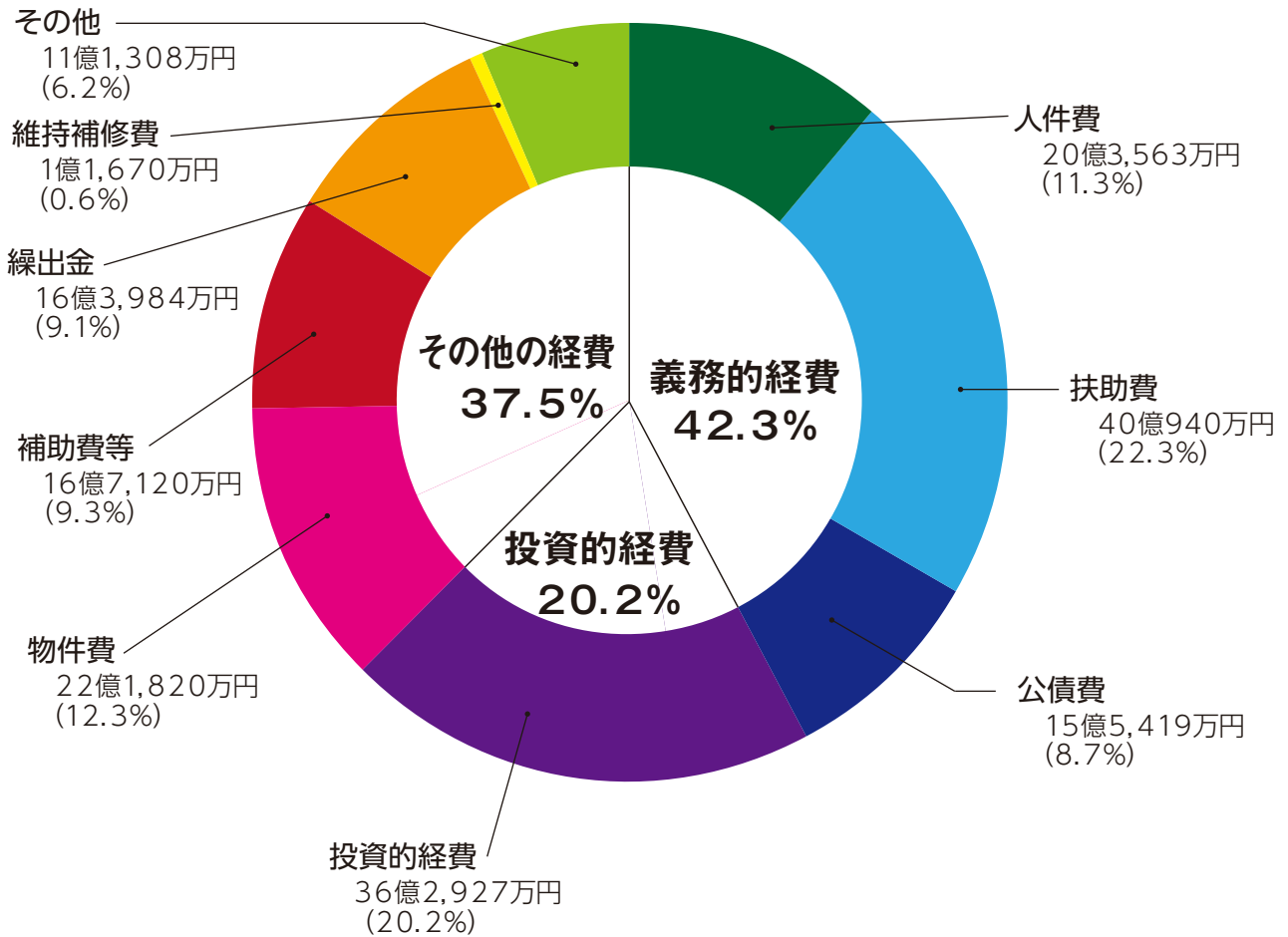
市が自主的に収入できるお金のことです。市税や負担金、使用料、繰越金などのことです。この割合が高いほど財政が安定し、自主的な事業に取り組むことができます。

固定資産税の増収や、新庁舎建設のための基金繰入金が増加しました。

依存財源 55.5% (前年度比 -2.7%)

国や県から交付されるお金のことです。国・県支出金、地方交付税、市債などのことです。固定資産税が増加したことなどにより、地方交付税が減少しました。

歳出



義務的経費 42.3% (前年度比 - 5.8%)

市職員や議員などの人件費、児童・高齢者・生活困窮者などの支援に要する扶助費、市の借金の返済である公債費のことで、この割合が高いと財政構造が硬直化し、自主的な事業が制限されます。

臨時福祉給付金事業の終了により扶助費が減少しましたが、合併特例債の返済が一部始まったことにより、公債費が増加しました。

投資的経費 20.2% (前年度比 + 7.1%)

道路や公共施設の整備、災害復旧などにかかるお金のことです。新庁舎の建設や東部総合運動公園の整備などにより増加しました。

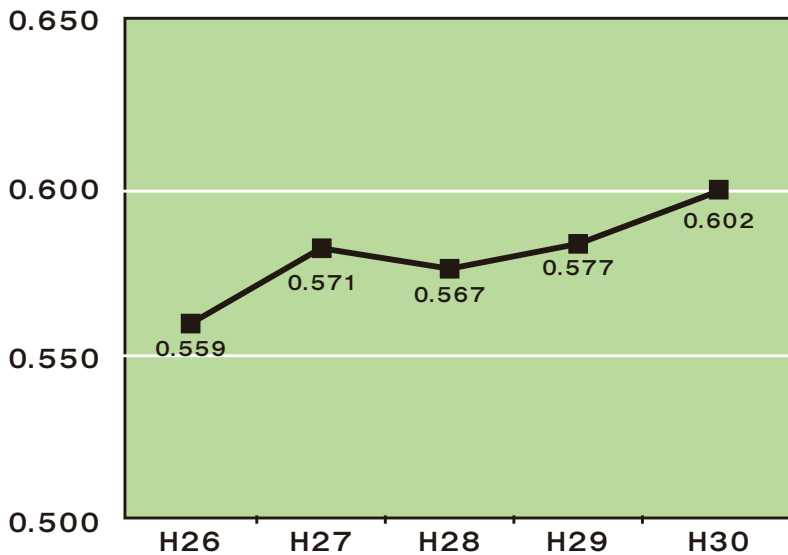
その他の経費 37.5% (前年度比 - 1.3%)

施設の維持管理や賃金などの物件費、各種団体や消防署・介護保険広域連合などへの負担金、特別会計への繰出金などのことです。全体に占める割合は減少していますが、ふるさと納税の増加により積立金などが増加しています。

グラフで見る財政状況

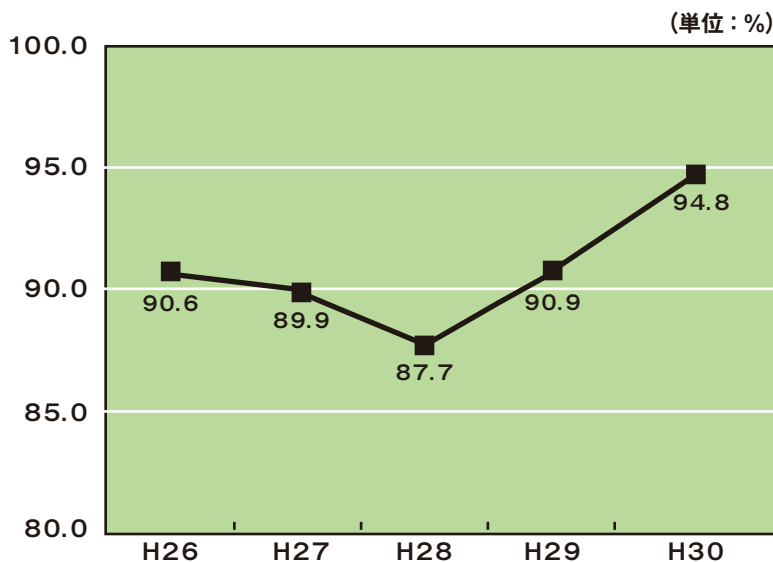
宮若市の財政指標をグラフで見てみましょう。経年変化を追うことで市の財政が好転しているのか悪化しているのかを捉えることができます。

財政力指数



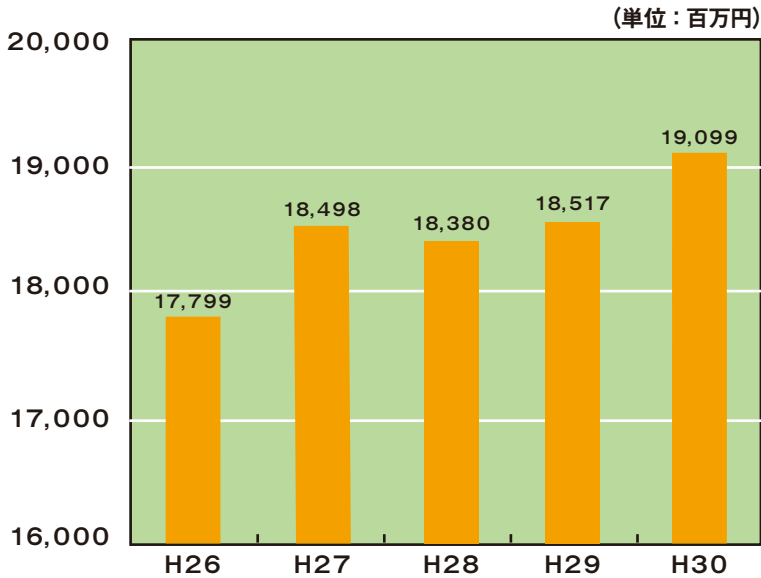
財政力指数は財政基盤の強さを表すもので、「1」に近づくほど財源に余裕があるといえます。固定資産税などが増加したため、高くなりました。

経常収支比率



経常収支比率は、財政構造の弾力性を表すもので、安定して収入される財源に占める固定的に支出される経費の割合です。数値が低いほど柔軟な財政運営ができるといえます。普通交付税が減少したため高くなりました。

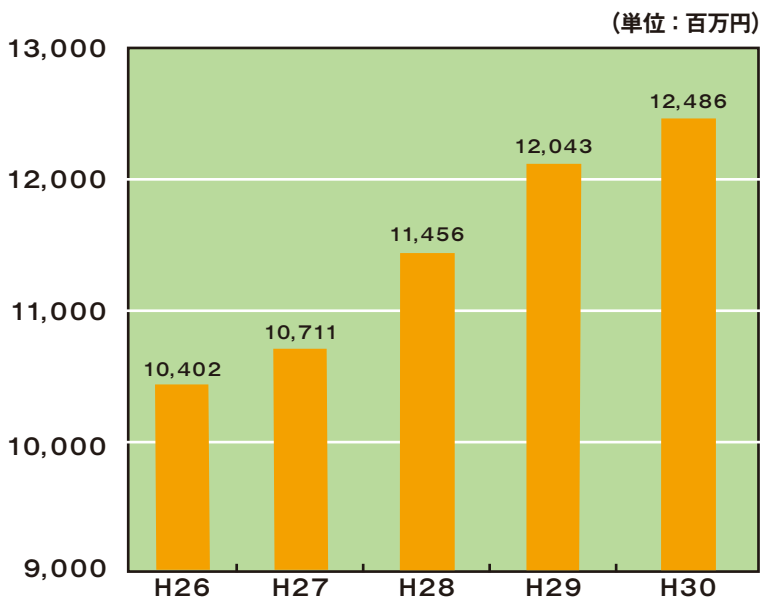
市債残高



市債とは市の借入金のことです。長年にわたって使用する公共施設等については、将来その施設を使う人にも平等に負担してもらう目的もあります。

新庁舎建設のための借入を行ったことにより、残高は増加しました。

基金残高



基金とは、市の貯金のことです。

経済情勢の著しい変動等による収支の悪化に備えるための財政調整基金やその他特定の事業を行う目的で積み立てを行っている基金などがあります。

輝くふるさと応援基金などへの積み立てにより増加しています。

第1章

自然環境 豊かなみどりが輝くふるさとを守る、自然と共生したまちづくり

自然環境と地域景観の保全

■ 不法投棄防止対策事業 (環境保全課)

177 万円

財源 県：12万円 市：165万円

不法投棄防止推進委員による監視体制の強化や不法投棄防止監視カメラ、看板、防護柵の設置などによる不法投棄の防止に努めました。

また、環境クリーン作戦や遠賀川流域河川一斉清掃の実施、自治会などが実施している環境美化運動の支援を行いました。

■ 空家等対策事業 (建築都市課)

167 万円

財源 国：82万円 市：85万円

空家等対策計画に基づき、空家化の予防や適切な管理などの啓発を行うとともに、老朽化し危険性の高い空家を対象に、解体撤去費用の補助を4件行いました。

廃棄物処理とリサイクル対策の推進

■ ごみの減量化・リサイクル推進事業

(環境保全課)

936 万円

財源 その他：13万円 市：923万円

ごみの減量化・リサイクルを推進するため、第2・4日曜日に市役所本庁舎と若宮コミュニティセンターの2カ所で行っている資源物拠点回収を継続して実施しました。

また、ごみとして処理されている古紙などを再資源として有効活用するため、リサイクル活動登録団体への支援を行いました。

さらに、ごみの減量化を図るため、生ごみ処理機器購入者、ダンボールコンポスト購入者に補助金を交付しました。



上水道の安定供給

■ 公営企業会計の適用 (水道課)

567 万円

財源 市：567万円 (うち市債：560万円)

簡易水道事業のさらなる経営の健全化を図り、将来にわたって安定的にサービスを提供していくため、令和2年度からの公営企業会計の適用に向け、公営企業会計システムの導入及び業務支援委託を実施しました。

■ 配水管整備事業 (水道課)

7,765 万円

財源 その他：314万円
市：7,451円 (うち市債：5,280万円)

各浄水場できれいになった水を運ぶための配水管が市内の各所に埋設されています。

平成30年度は、幹線配水管の福岡・直方線外3路線の工事を行いました。

下水道等の整備

■ 公共下水道建設費 (下水道課)

6億3,760 万円

財源 国：2億1,953万円 その他：5,250万円
市：3億6,557万円 (うち市債：2億8,490万円)

福岡県が事業主体である遠賀川中流流域下水道事業の進捗状況に併せて、詳細設計と調査などを行い、事業認可区域内の幹線管きよの整備や末端管きよの整備促進を図りました。

遠賀川中流流域下水道事業では、広域的な汚水処理対策を図るため、福岡県と関連市町が連携を図りながら整備を促進しています。



遠賀川中流浄化センター

■ 合併浄化槽整備事業 (下水道課)

1,585 万円

財源 国：527万円 県：527万円
市：531万円

汚水処理施設構想に基づき、公共下水道整備区域以外での浄化槽の設置を43基行いました。

■ 公営企業会計の適用 (下水道課)

1,820 万円

財源 市：1,820万円 (うち市債：1,810万円)

下水道事業のさらなる経営の健全化を図り、将来にわたって安定的にサービスを提供していくため、令和2年度からの公営企業会計の適用に向け、引き続き取組を進めました。

治山・治水・砂防対策の充実

■ 砂防費 (土木建設課)

4,961 万円

財源 県：2,400万円
市：2,561万円 (うち市債：2,400万円)

福岡県の補助事業である急傾斜地崩壊対策事業により、宮日田地区(金生)と脇田地区の整備を進めました。



第2章 生活基盤・都市基盤

安全・安心で便利な暮らしを確保する
生活基盤・都市基盤づくり

計画的な土地利用の促進

■ 都市計画基礎調査の実施 (建築都市課)

376 万円

財源 県：90万円 市：286万円

都市計画マスタープランに即した計画的な土地利用の促進を図るため、都市計画見直しの基礎資料となる都市計画基礎調査を実施しました。

■ 国土調査の実施 (土地対策課)

6,773 万円

財源 国：2,775万円 県：1,388万円
市：2,610万円

個人の権利や財産を尊重し、国土の開発、保全、利用の円滑化を図るため、平成30年度は、四郎丸・山口地区の一部の地籍簿の作成と一筆地調査、測量を行いました。地籍調査完了後は、国の承認を経て法務局の字図と登記簿が修正され、土地取引の円滑化や行政運営の効率化を図ります。

中心拠点の整備

■ 中心拠点整備事業 (まちづくり推進課)

11億657 万円

財源 その他：8億2,780万円
市：2億7,877万円
(うち市債：2億7,600万円)

中心拠点整備については、新庁舎建設設計業務を基に、平成30年度～令和3年度までの4カ年の計画で、新庁舎建設や現庁舎の解体除去、駐車場等の外構整備を行います。新庁舎は令和2年春の開庁を目指し、現在建設工事を行っています。



新庁舎内 多目的ホール完成イメージ

定住・住宅施策の推進

■ 定住促進事業 (まちづくり推進課)

1億121万円

財源 国：1,194万円 市：8,927万円

宮若市に定住するため新たに住宅など取得した人を対象に、固定資産税相当額を定住奨励金として、503件交付しました。

また、将来の定住者となり得る若い世代の確保を図るため、新婚・子育て世帯を対象に、民間賃貸住宅の家賃に対する補助金を269件交付しました。

さらに、新たな定住ゾーンとして若宮小学校跡地の利活用を図るために、利活用基本計画を策定しました。

■ 住宅管理事業 (建築都市課)

6,278万円

財源 国：3,134万円 県：52万円 市：3,092万円

市営住宅長寿命化計画に基づき、住宅の安全性確保及び長寿命化を図るために、国の補助金を活用し、新成団地外壁改修工事を実施するとともに、管理戸数の適正化を図るため、用途廃止となった住宅の除去工事を実施しました。

また、市民が快適に住み続けられることや市民の消費を促し、地域経済の活性化を図るため、個人住宅・地区公民館を対象に住宅等改修補助金制度を継続して実施しました。

道路・交通網・生活環境の整備

■ 道路新設改良費 (土木建設課)

4億898万円

財源 国：1億5,255万円
市：2億5,643万円 (うち市債：1億5,810万円)

幹線市道は、老朽化の進む舗装の改修や歩道の整備を国庫補助事業を活用しながら進めており、年次計画に基づき、市道原田・沼口線、宮田・三坑線、長井鶴・向田線、上大隈・西川線、浦田・京野線、坂本・中川原線、今橋・尾勝線外の整備を促進し、歩道の整備を含め、利便性や安全性を高めました。

■ 道路橋りょう総務費 (土木建設課)

491万円

財源 市：491万円

市民と行政の協働による良好な道路環境の保全推進を目的とした道路愛護推進活動について、積極的に周知を行い、活動団体の増加に努めました。

■ 生活交通手段の確保・利用促進

(産業観光課)

6,329万円

財源 県：66万円 市：6,263円

地域バス路線対策として、公共交通の維持確保に向け、乗合バス8路線及び路線バス(JRバス・西鉄バス・鞍手線)に係る運行維持費を補助しました。

公園・緑地の整備

■ 公園整備事業費 (土木建設課)

572万円

財源 国：102万円
市：470万円 (うち市債：420万円)

公園再整備計画の詳細設計を基に、都市再生整備計画事業を活用して、交流・情報の発信拠点として利用者や地域住民のニーズに適合した整備を進めました。

今後は、公園施設の適切な維持管理に努めます。

■ 河川公園・2000年公園維持

管理事業 (まちづくり推進課)

1,336万円

財源 市：1,336万円

犬鳴川河川公園や2000年公園は、市民団体などとの協働による管理を行いました。

また、新たにヒガンバナまつりを開催するなど各種イベントを通じて、多くの方々の交流の場として、活用を推進しました。



消防・防災・防犯・交通安全の充実

■ 防災意識の醸成と体制強化 (総務課)

764 万円

財源 市：764万円

自助・共助・公助の理念に基づいた地域防災力の向上に向け、自主防災組織の育成・支援に取り組み、災害時の初動体制や避難行動要支援者避難支援体制の構築を図りました。

また、防災行政無線の運用においては、戸別受信機や文字表示装置を活用し、高齢者の方々などへのよりきめ細かな防災情報の伝達に努めました。



■ 消防団の充実強化 (総務課)

1,199 万円

財源 市：1,199万円 (うち市債：1,190万円)

地域防災の要となる消防団については、消防団員の確保や、消防設備の充実に努めました。

平成30年度は小型動力ポンプ付軽四輪駆動積載車を2台購入しました。

■ 犯罪を防止する環境整備 (総務課)

739 万円

財源 市：739万円

自治会などによる防犯灯の設置を支援し、犯罪を防止する環境整備を進めました。

(新設：59件、取替365件)

第3章

産業

企業誘致と立地企業の発展を支援し、活力ある産業を育て、雇用を生み出すまちづくり

農林業の振興

■ 有害鳥獣被害対策事業 (農政課)

549 万円

財源 国：1万円 市：548万円

深刻化する鳥獣害に対応するため、猟友会をはじめとする関係機関などと連携した駆除を強化するとともに、国の補助と並行した市単独の有害鳥獣駆除補助制度を創設しました。

また、鳥獣被害防止特措法に基づく、地域単位でのワイヤーメッシュ柵、電気牧柵の設置事業や市単独の防護柵等設置補助制度により、被害防除に取り組みました。

■ 宮若米のPR事業 (農政課)

44 万円

財源 国：22万円 市：22万円

おいしいお米として定評のある宮若米を市内外に広く知ってもらい、たくさんの人に購入していただくため、宮若うまい米コンクールを実施しました。

また、コンクール上位入賞者のお米は九州大会・国際大会に出品し、好成績を収めました。

■ 多面的機能支払交付金 (農政課)

3,964 万円

財源 国：1,990万円 県：987万円 市：987万円

農業や農村は、自然環境の保全や水源の涵養、良好な景観の形成など多面的機能を有していますが、過疎化・高齢化・混住化などの進行に伴う集落機能の低下により、地域の共同活動によって支えられている多面的機能の発揮に支障が生じつつあります。

このため、地域の共同活動に支援を行うことで、農用地や水路、農道、ため池などの地域資源の適切な保全管理を推進しました。

■ 営農推進対策事業 (農政課)

714 万円

財源 市：714万円

市独自の事業として、堆肥等土壌改良剤や農業害虫の駆除などに対して補助を行うとともに、特産品の開発や販路拡大などにも取り組み、営農の推進を図りました。

■ 青年就農給付金 (農政課)

375 万円

財源 県：375万円

若年層の就農意欲を高め、その後の定着を図るため、45歳未満の就農希望者に対して、就農給付金を給付しました。

■ 農林水産業施設の災害復旧 (土木建設課)

2,724 万円

財源 県：1,745万円 市：979万円

平成30年7月豪雨によって被災した、道出農地・農業用施設や幸崎農業用施設外4箇所の補助災害復旧工事を行いました。

■ 耕作不利農地改善事業 (土木建設課)

11 万円

財源 市：11万円

面積が狭小、湧き水による湿田化など、耕作不利農地の条件改善のため、農家が実施する対象事業を補助することで、増加する耕作放棄地の発生防止に向けた取組を行いました。

■ 農業観光振興センターの整備 (産業観光課)

400 万円

財源 市：400万円

市内直売所や観光協会と連携を図りながら、農産物・特産品販売と観光情報発信の拠点となる、特産品販売施設を整備します。平成30年度は、農業観光振興センター整備基本計画に基づいて、基本設計業務を行いました。

商業の振興

■ 地域に密着した商業の活性化

(産業観光課)

496 万円

財源 市：496万円

買物利便性の向上のため、車両での移動販売の対象地区の拡大に取り組むとともに、宮田ショッピングセンター跡地の利活用を図るため、解体に向けた設計を行いました。

また、宮若商工会議所・若宮商工会が実施するプレミアム付振興券発行事業を支援しました。

■ 特産品の開発・販路開拓 (産業観光課)

360 万円

財源 市：360万円

特産品や農産物の販路開拓や宮若ブランドの確立を図るため、商業者と認定農業者で組織する宮若じまん振興会に補助金を交付し、販路拡大や普及促進を図りました。

企業誘致の推進

■ 企業誘致の推進 (まちづくり推進課)

6,436 万円

財源 県：119万円 市：6,317万円

磯光工業団地の完売など企業進出が相次ぎ、公的な工場用地が不足していることから、新たな企業の受け皿を確保するため、工業団地適地調査を行いました。また、進出が決定した企業の工場建設、操業開始に合わせて、企業立地促進助成金を交付しました。

観光の振興

■ 観光資源の整備 (産業観光課)

1,794 万円

財源 その他：299万円 市：1,495万円

イベントの魅力向上や地域観光資源の掘り起こしを進めるとともに既存施設の環境整備を行い、観光入込客の増加を目指しました。

また、いこいの里千石のキャンプ施設の修繕や老朽化の著しいバンガローを削減し、規模を縮小するとともに、環境整備を行いました。

さらに、観光事業等基金を活用して、脇田温泉のサイン改修や犬鳴ダム関連施設の補修を行いました。

■ イメージアップ・観光情報発信事業

(産業観光課)

378 万円

財源 その他：359万円 市：19万円

市のイメージアップを図るため、市の特産品でイメージキャラクターでもある追い出し猫を積極的に活用し、市内外のイベントや観光物産展などを通じて、市の特産品や観光資源のPRを行いました。また、「宮若なび」を活用した情報発信を行いました。

第4章

保健・福祉

市民が健康に暮らし、高齢者や子どもを支え合う、
安心な暮らしを高める社会づくり

社会福祉の充実

面接相談員配置による体制強化

(保護人權課)

433 万円

財源 国：325万円 市：108万

生活保護制度に精通した面接相談員を配置し、要保護者からの生活相談に対する指導・助言や受給申請手続きなどの支援を行い、生活保護行政の適正化に努めました。

社会福祉協議会の活動支援

(子育て福祉課)

5,083 万円

財源 市：5,083万円

宮若市社会福祉協議会が実施している地域福祉推進事業、ボランティア活動推進事業、各種相談事業、高齢者・障がい者（児）支援事業など、福祉事業活動の拡充を支援するため、補助金を交付しました。

民生委員・児童委員の活動支援

(子育て福祉課)

302 万円

財源 市：302万円

市民の生活上の相談や高齢者・子どもの見守りなど、身近な地域福祉活動の中心的な役割を担う民生委員・児童委員の活動を支援するため、民生委員児童委員協議会に対して補助金を交付しました。

児童・母子福祉の充実

ひとり親家庭への支援 (子育て福祉課)

2億901 万円

財源 国：7,079万円 県：99万円
市：1億3,723万円

ひとり親家庭の生活の安定と自立支援を促進するため、児童扶養手当や高等職業訓練促進給付金などの給付を行いました。

学童保育事業 (子育て福祉課)

5,563万円

財源 国：1,514万円 県：1,530万円
市：2,519万円

小学校区に合わせて市内5カ所(8クラブ体制)で学童保育所を運営し、小学生のいる子育て世帯の支援を行い、ひとり親家庭や多子世帯などについては、保育料を一部減免しました。

平成30年度は、宮若西学童保育所の整備について検討を行いました。



認定こども園・保育所の整備促進

(子育て福祉課)

4億5,311 万円

財源 国：1億3,964万円 県：1億9,734万円
市：1億1,613万円

老朽化した公立保育施設(第2保育所、さくら幼児園)の保育環境を改善するため、民間活力を活用して、2つの施設に替わる新たな認定こども園の整備に取り組み、新たな認定こども園を整備する社会福祉法人に対して補助金を交付しました。

また、昨今の急激な保育需要の高まりによる待機児童の解消に向けて、新たに民間保育施設の整備に取り組む社会福祉法人に対して、補助金を交付しました。



■ 保育所・認定こども園の運営

(子育て福祉課)

6億249万円

財源 国：1億3,171万円 県：6,257万円
その他：1億322万円 市：3億499万円



公立・民間保育所での通常・延長保育などの保育サービスを実施しました。

また、平成30年度から、保育士不足を解消するため、民間保育所で勤務する保育士への家賃補助制度や勤務年数に応じて就労支援金を給付する制度、保育補助者の賃金の一部を補助する制度を新たに創設し、待機児童の解消に向けた取組を実施しました。

保育士の専門性向上を図るため、研修の機会を付与したほか、民間保育所での英語教育のための経費に補助を行うことで、保育の質が高められるよう市独自の支援を行いました。

■ 子育て支援センターの運営

(子育て福祉課)

2,337万円

財源 国：907万円 県：829万円
その他：318万円 市：283万円

子育て支援センターのさくらんぼ(さくら幼稚園内)・たんぼぼ(宮若リコリス内)・たけんこ(若宮幼稚園横)では、子育て相談や親子の交流の場として、地域の身近な子育て支援の拠点となるよう継続して運営を行いました。また、さくらんぼとたけんこ、第2保育所の3カ所で実施している一時預かり事業を行いました。

障がい者福祉の充実

■ 自立支援医療給付費事業

(子育て福祉課)

1億558万円

財源 国：4,704万円 県：2,352万円
市：3,502万円

障がいのある人の手術などの医学的処置や機能障がいの軽減改善を図るための医療費を給付しました。

また、障がいを除去・軽減する手術など、治療により確実に効果が期待できる障がいのある児童に対して、生活能力を得るために必要な医療費の支給を行うなど、生活の支援を行いました。

■ 介護給付費・訓練等給付費事業

(子育て福祉課)

8億564万円

財源 国：4億25万円 県：2億13万円
市：2億526万円

障がいのある人が住み慣れた家庭や地域で安心して充実した生活が送れるよう、訪問系サービス、日中活動系サービス、居住系サービスの提供及び補装具の給付を行うとともに、就労移行支援や就労継続支援の充実に努めました。

■ 地域生活支援事業 (子育て福祉課)

3,166万円

財源 国：608万円 県：291万円
その他：154万円 市：2,113万円

障がいのある人やその保護者などに対する相談体制の確立を図るとともに、意思疎通支援や移動支援、日中一時支援、日常生活用具給付等事業など、安心して日常生活が送れるような支援体制の確立を図りました。

■ チャレンジ雇用の実施 (総務課)

137万円

財源 市：137万円

障がいのある人が民間企業へ就職するための経験を積む機会として1名のチャレンジ雇用を実施しました。

高齢者福祉の充実

■ 地域包括ケア体制の確立

(健康福祉課)

5,185万円

財源 その他：5,149万円 市：36万円

団塊の世代が75歳以上となる令和7年を目処に、高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、医療・介護・介護予防・住まい・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの深化・推進のため、生活支援サービスの体制整備や、在宅医療・介護連携、認知症施策、地域ケア会議などに取り組みました。

■ 介護予防事業 (健康福祉課)

1,638 万円

財源 その他：1,635万円 市：3万円

社会福祉協議会へ委託している「あったかサロン」を今年度から宮田地区の西部ブロックでも開催し、高齢者の方へ健康づくりサービス、社会活動サービス、生きがいサービスなどを提供をしました。

また、運動器の機能向上、口腔機能の向上、認知症予防などを目的として、公共施設や自治会などで実施する介護予防教室を通して、介護予防に関する知識を習得してもらい、日常生活の中で自発的に介護予防の取組が行われるよう支援しました。

健康づくりの推進

■ 総合健診 (健康福祉課)

1,567 万円

財源 国：17万円 県：63万円 市：1,487万円

生活習慣病の早期発見のため、検診の必要性について周知を行い、総合健診の受診率向上を図りました。平成30年度は、延べ6,471人が受診しました。

- ・健康診断
 - ・骨粗鬆症検診
 - ・がん検診
 - ・健康診断
 - ・歯科健診
 - ・肝炎ウイルス検査
 - ・がん検診
- (胃がん、肺がん、大腸がん、子宮がん、乳がん、前立腺がん)

■ 特定健診・特定保健指導 (市民課)

1,968 万円

財源 県：986万円 市：982万円

特定健診は内臓脂肪型肥満に着目した健康診査であり、メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)に該当する人などを対象に生活指導などを行い、生活習慣病を予防することを目的としています。未受診者を対象に受診勧奨を行うとともに、特定健診を受診し結果説明を受けた人を対象に、宮若市関連の商品を配布するなど、さらなる受診率の向上を図りました。

また、受診の結果、生活習慣病の予備軍や要受診者となる人を対象に、保健師・管理栄養士による受診指導、生活改善指導を実施し、疾病の発症・悪化の防止に努めました。

■ 予防接種 (健康福祉課)

7,090 万円

財源 市：7,090万円



感染症予防のため、予防接種法に基づく定期予防接種の推進を行いました。また、市の単独事業として、70歳以上を対象とした高齢者肺炎球菌予防接種費用の一部助成事業を継続して行い、217人が接種しました。

- ・四種混合
- ・二種混合
- ・ポリオ
- ・BCG
- ・ヒブ
- ・水痘
- ・B型肝炎
- ・三種混合
- ・日本脳炎
- ・MR (麻疹、風疹)
- ・インフルエンザ
- ・小児肺炎球菌
- ・子宮頸がん
- ・成人用肺炎球菌



医療の充実

■ 医療費適正化対策 (市民課)

6 万円

財源 市：6万円

宮若市の国民健康保険財政の健全化に向けた取組の一つとして、後発医薬品(ジェネリック医薬品)の使用による医療費減額通知の送付を通じて、先発医薬品と同等であるジェネリック医薬品の使用を促進することで、医療費の適正化に努めました。



■ みやわか健康ポイント事業

(健康福祉課)

230 万円

財源 市：230万円

自主的な健康づくりを支援するため、健康づくりに関する事業をポイント化し、1,300人のポイント達成者全員に記念品の贈呈を行いました。



■ 妊婦健康診査 (健康福祉課)

1,785 万円

財源 市：1,785万円

母子ともに安全な出産を迎えるため、妊婦健康診査の費用を公費負担し、2,326人が受診しました。また、健診結果を基に、必要に応じて妊娠中から健康管理の支援を行いました。



第5章

教育・文化

子どもの「生きる力」を育てる学校教育と、多彩な市民交流を生む社会教育の充実

学校教育の充実

■ 確かな学力の育成 (学校教育課)

1,844 万円

財源 県：120万円 市：1,724万円

学力向上については、確かな学力を確立するための基礎的・基本的な知識・技能や思考力・判断力・表現力などを育成し、学習意欲の向上や学習習慣の定着を図るため、学力向上プロジェクトE事業を中心として様々な事業を実施しています。

放課後学習「みやわかアフター・スクール」を全小中学校で実施し、子どもたちの学習支援を行うとともに、教員の資質向上のための研修会「みやわか教師塾」の開催や、学力実態調査・体力実態調査の実施、トヨタ自動車九州(株)の協力を得てサイエンススクールを実施しました。

また、平成29年度から、宮若東中学校が福岡県の学力向上拠点推進事業の研究指定を受けており、授業改善・指導力向上を目指した取組を進めています。



■ 教育施設の適正配置 (教育総務課)

(学校再編事業)

25 万円

財源 市：25万円

児童数が減少傾向にあるなか、活力ある教育環境を整備するため、宮若東中学校区小学校を学校等整備方針に基づいた再編を進めるため、宮若市学校等整備計画策定委員会を設置し、宮若市学校等整備計画(宮若東中学校区小学校編)を作成しました。

■ 学校・家庭・地域の連携協力の推進 (学校教育課)

85 万円

財源 市：85万円

学校、地域、家庭が力を合わせて学校運営に取り組み、子どもたちを育む「地域とともにある学校」づくりを推進するため、学校運営協議会規則に基づいてコミュニティ・スクールの導入を進めています。平成30年度は、小中一貫校に導入し、安全や環境、学習面において地域の方々が学校運営に参画しました。

■ 英語教育の推進 (学校教育課)

2,544 万円

財源 県：10万円 市：2,534万円

国際理解教育の推進と、令和2年度からの新学習指導要領の実施に伴う小学校5・6年生の外国語科(英語)の教科化に伴い、ALTを幼稚園、小中学校へ派遣するなど、外国語科や外国語活動の充実に努めました。

また、宮若西小・中学校が平成30年度から福岡県の研究指定を受け、グローバル化に対応した外国語教育の推進に向けた取組を進めています。



■ 特別支援教育支援員配置事業

(学校教育課)

1,590 万円

財源 市：1,590万円

市内小中学校の特別支援学級に在籍している児童生徒や通常学級に在籍している発達障がいがある児童生徒など、特別な支援が必要な子どもたちに適切な教育的支援を行うために、特別支援教育支援員の配置や支援員への研修を行うなど、特別支援学級等の教育活動の充実にに向けた取組を実施しました。

また、特別に支援を必要とする児童生徒の就学などについては、発達障がい相談支援カウンセラーによる助言や特別支援教育連携協議会の中で関係機関との情報交換を行い、円滑に連携していくことで、当該児童生徒にとって適切な教育支援を行いました。

■ 小学校図書司書の配置

(学校教育課)

654 万円

財源 市：654万円

小学校の読書活動の充実に学校図書館を利用した学習活動の活性化を図るため、市内小中学校へ図書司書を配置しました。

■ 施設環境の整備 (安全対策事業)

(教育総務課)

704 万円

財源 国：172万円
市：532万円(うち市債：340万円)

学校施設等にあるブロック塀のうち、地震災害時に倒壊の危険性があるものについて、児童生徒などの安全を確保するため、撤去を行うなど整備推進を図りました。

スポーツの推進

■ スポーツフェスタの充実 (社会教育課)

72 万円

財源 市：72万円

レクリエーションやニュースポーツを導入するなど、多世代での参加が可能なイベントを企画し、参加者の拡大を図りました。



青少年の健全育成

■ 体験学習の推進 (社会教育課)

74 万円

財源 市：74万円

小学生を対象に週5日制事業「わいわいサークル」や夏休み・春休みを利用したサマーチャレンジ・スプリングチャレンジを開催しました。



芸術文化活動の充実

■ 芸術文化鑑賞機会の充実

(社会教育課)

167 万円

財源 市：167万円

市民文化祭やコンサートを開催し、市民が芸術文化に触れる機会を提供しました。



文化財の保護・継承

■ 文化財の整備・保存の推進

(社会教育課)

1,744 万円

財源 国：750万円 県：52万円
市：942万円 (うち市債：600万円)

国指定史跡である竹原古墳の保存整備に取り組みました。

また、旧若宮西小学校を活用した文化財収蔵・展示施設と地域の活動拠点を併せ持つ施設整備を行うための基本計画の策定に取り組みました。

第6章

市民協働・コミュニティ

市民とともに地域の課題解決に向けて
取り組んでいく協働のまちづくり

市民参加の推進

■ 広報・広聴の充実 (秘書政策課)

1,803 万円

財源 国：14万円 県：54万円
その他：77万円 市：1,658万円

行政情報の発信については、広報紙や市公式ホームページと併せ、新聞や雑誌、フリーペーパーなど、様々な広報媒体の併用による情報発信が必要です。主要施策をはじめ、情勢や現況、地域の特色などを分かりやすく紹介し、本市への理解を深めてもらうとともに、魅力を広く発信するため、市勢要覧を製作しました。

また、皆さんが市政情報等を受信しやすいよう、ホームページの情報と連動した宮若市公式アプリの配信を開始しました。

■ 新国富指標調査分析事業 (秘書政策課)

140 万円

財源 その他：140万円

九州大学都市研究センターが調査研究を行っている新国富指標（長期的に持続可能な発展を計測するために開発された経済指標）をまちづくりに活用するため、講演会や市民アンケート調査を行いました。また、調査結果などを分析し、市民を対象とした報告会を行いました。

地域コミュニティの形成

■ 職員地域担当制度 (まちづくり推進課)

210 万円

財源 市：210万円

自治基本条例に基づく職員の地域担当制度については、各ブロックで地域と職員が協働して、様々な事業・イベントなどを実施しました。

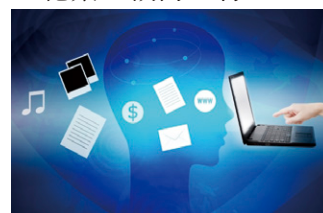
地域情報化の推進

■ 地域情報化の推進 (総務課)

3,486 万円

財源 国：470万円 市：3,016万円

子育てワンストップサービスや情報連携などが開始され、マイナンバーの有効活用が着実に進んでいます。マイナンバーの更なる活用とAIやRPAなど新たなICT技術の利活用を積極的に進めていくための施策の検討を行いました。また、電子自治体の推進に向けた取組として、基幹系システムの単独クラウド化を実施しました。



ふれあい交流活動の充実

国際感覚を備えた人材の育成

(秘書政策課)

188 万円

財源 その他：188万円

宮若市と宗像市、トヨタ自動車九州(株)の地域連携の取組として、中・高校生を海外に派遣するプログラムを実施しました。

宮若市からは5人の生徒が参加し、ホストファミリーや同世代のバディとの交流、日本の

ことを伝えるプレゼンテーションを協力しながら行うなど、将来を担うグローバルな人材の育成に取り組みました。



第7章 計画の推進と実現のために

輝くふるさと応援寄附金制度の推進

(財政課)

2億9,744 万円

財源 国：315万円 その他：2億7,049万円
市：2,380万円

宮若市のまちづくりに賛同する方からの「ふるさと納税制度」による寄附金を財源に、特色あるまちづくりを進めました。

また、返礼品を通じた市内特産品の販路拡大のため、新たな返礼品の発掘に取り組むとともに、首都圏でのイベントに出展するなど、積極的に寄附の拡大を図ったことにより、6億2,772万円の寄附につながりました。



固定資産（土地）評価の価格修正に伴う標準宅地時点修正業務

(税務収納課)

133 万円

財源 市：133万円

地価の下落を次年度の固定資産評価額に反映させるため、7月1日時点における標準宅地の時点修正率を鑑定評価により求め、市内全域の宅地等について価格修正を行いました。

地番現況図などの更新 (税務収納課)

1,816 万円

財源 市：1,816万円

課税対象物件の的確な把握による適正な課税を図るため、航空写真の撮影や地番現況図、公園の通年異動更新を行い、令和3年度評価替えに向けて土地評価見直し業務を進めました。

収納率の向上及び滞納対策の強化

(税務収納課)

65 万円

財源 市：65万円

収納率の向上のため、資力のある滞納者に対して、不動産の差押を積極的に行いました。

また、ファイナンシャルプランナーによる多重債務者のための過払い利息分の返還請求など、法律相談や家計改善指導に取り組み滞納整理を行いました。



資料. 決算概要

一般会計

歳入総額	188億8,512万円
歳出総額	179億8,751万円
差引残額	8億9,761万円

歳入

款	決算額
1 市税	48億2,702万円
2 地方譲与税	1億6,193万円
3 利子割交付金	384万円
4 配当割交付金	854万円
5 株式等譲渡所得割交付金	782万円
6 地方消費税交付金	5億8,478万円
7 ゴルフ場利用税交付金	4,736万円
8 自動車取得税交付金	6,152万円
9 国有提供施設等所在市町村助成交付金	158万円
10 地方特例交付金	1,524万円
11 地方交付税	35億886万円
12 交通安全対策特別交付金	529万円
13 分担金及び負担金	1億5,177万円
14 使用料及び手数料	3億7,116万円
15 国庫支出金	28億9,666万円
16 県支出金	11億9,713万円
17 財産収入	1億8,410万円
18 寄附金	6億3,136万円
19 繰入金	7億8,397万円
20 繰越金	11億9,291万円
21 諸収入	2億5,197万円
22 市債	19億9,031万円

歳出

目的別

款	決算額
1 議会費	1億6,242万円
2 総務費	38億6,959万円
3 民生費	66億5,134万円
4 衛生費	10億3,607万円
6 農林水産業費	5億1,573万円
7 商工費	3億184万円
8 土木費	13億8,577万円
9 消防費	5億4,371万円
10 教育費	18億4,683万円
11 災害復旧費	1億2,002万円
12 公債費	15億5,419万円

性質別

区分	決算額
人件費	20億3,563万円
扶助費	40億940万円
公債費	15億5,419万円
物件費	22億1,820万円
維持補修費	1億1,670万円
補助費等	16億7,120万円
繰出金	16億3,984万円
積立金	10億9,308万円
投資及び出資金・貸付金	2,000万円
投資の経費	36億2,927万円

国民健康保険特別会計

歳入総額	32億5,250万円
歳出総額	35億5,372万円
差引残額	△3億 122万円

歳入

款	決算額
1 国民健康保険税	5億5,492万円
2 使用料及び手数料	41万円
6 県支出金	23億9,348万円
10 繰入金	2億9,643万円
12 諸収入	726万円

歳出

款	決算額
1 総務費	5,810万円
2 保険給付費	22億4,501万円
3 国民健康保険事業費納付金	7億2,416万円
4 共同事業拠出金	1万円
6 保健事業費	2,002万円
9 諸支出金	1億2,217万円
11 繰上充用金	3億8,425万円

後期高齢者医療特別会計

歳入総額	4億3,589万円
歳出総額	4億2,735万円
差引残額	854万円

歳入

款	決算額
1 後期高齢者医療保険料	2億8,992万円
2 使用料及び手数料	5万円
3 繰入金	1億3,800万円
4 繰越金	792万円

歳出

款	決算額
1 総務費	420万円
2 後期高齢者医療広域連合納付金	4億2,252万円
3 諸支出金	19万円
4 保健事業費	44万円

住宅新築資金等特別会計

歳入総額	1億3,462万円
歳出総額	1億3,462万円
差引残額	0円

歳入

款	決算額
1 貸付回収金	65万円
2 県支出金	7万円
3 財産収入	8万円
4 繰入金	1億2,306万円
5 繰越金	1,076万円

歳出

款	決算額
1 総務費	16万円
2 基金積立金	8万円
3 公債費	35万円
4 繰出金	1億3,403万円

簡易水道事業特別会計

歳入総額	1億	760万円
歳出総額	1億	738万円
差引残額		22万円

歳入

款	決算額
1 分担金及び負担金	220万円
2 使用料及び手数料	4,637万円
3 繰入金	4,500万円
4 繰越金	110万円
5 諸収入	733万円
9 市債	560万円

歳出

款	決算額
1 総務費	1,434万円
2 事業費	3,730万円
3 公債費	5,574万円

公共下水道事業特別会計

歳入総額	9億2,822万円
歳出総額	8億9,942万円
差引残額	2,880万円

歳入

款	決算額
1 分担金及び負担金	4,308万円
2 使用料及び手数料	4,162万円
3 国庫支出金	2億1,953万円
5 財産収入	1万円
6 繰入金	2億8,316万円
7 繰越金	2,840万円
8 諸収入	942万円
9 市債	3億300万円

歳出

款	決算額
1 総務費	1億910万円
2 公共下水道建設費	6億3,760万円
3 公債費	1億5,272万円

吉川財産区特別会計

歳入総額	118万円
歳出総額	95万円
差引残額	23万円

歳入

款	決算額
1 財産収入	4万円
3 繰越金	110万円
4 諸収入	4万円

歳出

款	決算額
1 総務費	71万円
2 財産費	24万円

水道事業会計

(1) 収益的収入及び支出

収入		5億1,346万円
区分	決算額	
給水収益	4億1,121万円	
受託給水工事収益	749万円	
その他営業収益	37万円	
負担金	1,607万円	
他会計補助金	60万円	
水道加入金	1,078万円	
長期前受金戻入	6,643万円	
雑収益	51万円	

支出		4億7,636万円
区分	決算額	
原水及び浄水費	1億1,517万円	
配水及び給水費	7,522万円	
受託給水工事費	749万円	
総係費	4,220万円	
減価償却費	1億8,890万円	
支払利息及び企業債取扱諸費	3,177万円	
消費税	1,554万円	
特別損失	7万円	

(2) 資本的収入及び支出

収入		5,812万円
区分	決算額	
企業債	5,280万円	
他会計補助金	219万円	
負担金	313万円	

支出		1億8,900万円
区分	決算額	
建設改良費	7,830万円	
固定資産購入費	659万円	
企業債償還金	1億411万円	

宮若市役所 ダイヤルガイド

事業の内容の詳細などは、お気軽にこちらまでおたずね下さい。

本庁舎 TEL 0949-32-0510 (代) FAX 0949-32-9430

課名	係名	業務内容	電話番号
総務課	総務係	議案、条例・規則等の制定改廃、文書、情報公開、個人情報保護など	32-0511
	人事係	職員の人事、給与、研修、福利厚生、衛生管理、安全管理、組織管理など	
	防災安全係	消防、防災、防犯、交通安全など	32-1072
情報推進係	電算システムの開発管理、セキュリティ対策など		
管財課	財産管理係	市有財産管理、庁舎管理など	32-0761
	契約検査係	契約、請負業者の指名・入札など	
市民課	市民係	転入転出等、住民票、戸籍、印鑑登録、選挙管理委員会など	32-0514
	国保年金係	国民健康保険、国民年金、後期高齢者医療など	32-4004
税務収納課	市民税係	市県民税、国民健康保険税、軽自動車税の賦課など	32-0513
	資産税係	土地・家屋・償却資産の評価、固定資産税の賦課など	32-1008
	納税管理係	市税・国民健康保険税の徴収・滞納対策、市税等諸証明の交付など	
秘書政策課	秘書広報係	市長・副市長秘書、広報、シティプロモーション、ホームページ、表彰など	32-0512
	政策推進係	総合計画、総合戦略、広域行政、人材育成、国際交流など	
財政課	財政係	予算編成、執行管理、財政計画、地方交付税、市債など	32-0590
	財務経営係	行財政改革、ふるさと納税、行政基本資料の収集など	
まちづくり推進課	地域振興係	定住促進、自治会、犬鳴川河川公園・2000年公園、企業誘致など	32-0773
	拠点整備推進係	中心拠点整備の促進など	
子育て福祉課	地域福祉係	民生・児童委員、社会福祉協議会、地域福祉計画など	32-0562
	子育て支援係	児童・母子福祉、児童手当、児童扶養手当、家庭児童相談、学童保育など	32-0517
	障がい者福祉係	障がい者(児)福祉など	32-0541
健康福祉課	健康対策係 (保健センターパレット)	健康づくり、各種保健事業、予防接種、母子健康手帳交付、精神保健など	55-6000
	高齢者福祉係	高齢者福祉、介護保険、戦傷病者遺族等援護、高齢化対策など	32-0515
	地域包括支援センター	介護予防ケアマネジメント、高齢者の総合相談支援など	33-3456
保護人権課	事務係	生活保護に関する事務など	32-9377
	保護係	生活保護に関することなど	
	人権福祉係	人権・同和対策、男女共同参画、隣保館、住宅新築資金など	32-0765
環境保全課	環境衛生係	じん芥施設、衛生施設に関すること、犬の登録など	32-0516
	環境対策係	環境基本計画、火葬場、不法投棄、太陽光発電等設置助成など	
産業観光課	商工振興係	商工業の振興、消費生活、雇用促進など	32-0519
	観光推進係	観光振興、いこいの里千石、観光資源の保全・活用など	
農政課	農林対策係	林業経営の改善、林業生産の基盤整備、有害鳥獣駆除、荒廃森林対策など	32-0518
	農業振興係	農業経営の改善、地域農政推進、認定農業者、農業共済など	
土地対策課	用地係	用地取得、登記、市道の認定、道路台帳、占用使用許可、屋外広告物など	32-0569
	県道整備対策係	県道の整備に関することなど	32-0566
	国土調査係	地籍測量、地籍図作成、地籍簿作成など	
建築都市課	建築都市係	都市計画、建築協定、緑化対策、市営住宅の維持管理、空き家対策など	32-0955
	住宅管理係	市営住宅の入退去、特定鉱害復旧等申出事務、住宅改修助成など	
土木建設課	維持係	道路、河川、下排水維持管理、土木災害復旧、交通安全施設など	32-0799
	建設係	土木施設の新設改良工事など	
	農業土木係	農業用施設等の維持管理、土地改良、災害復旧、林地崩壊防止事業など	
下水道課	下水道係	下水道工事施工管理、設計、事業計画など	32-3159
	管理係	下水道資産管理、使用料、浄化槽設置助成など	
会計課	会計係	各種料金の支払い窓口、公金経理、資金管理など	32-3323
水道課	業務係	水道料金に関することなど	32-1005
	給水係	水道の給水など	
	浄水係	浄水場の維持管理など	
教育総務課	教育総務係	小学校・幼稚園の維持管理、スクールバスの運行、教育財産の管理など	32-1007
	学校再編推進係	小学校再編、学校給食施設の整備など	
学校教育課	学校教育係	児童就学、奨学金、通学区域、学級編成、教育支援センターなど	32-0715
	学校給食係	学校給食、学校給食施設の維持管理など	
社会教育課	公民館・スポーツ振興係	公民館・スポーツ施設の管理運営、社会体育、学校体育施設開放など	32-0123
	社会教育・文化推進係	図書館、青少年の健全育成、生涯学習、文化財、文化振興など	32-3210
議会事務局	議会係	市議会に関することなど	32-1135
農業委員会	農業委員会事務局	農地等の利用関係、農地法、農業者年金など	32-3553
監査事務局	監査事務局	監査委員・公平委員会に関することなど	32-1004

若宮総合支所 TEL 0949-52-1111 (代) FAX 0949-52-3119

課名	係名	業務内容	電話番号
市民窓口課	市民窓口係	転入転出、住民票、戸籍、税の収納証明、国民健康保険、国民年金、児童・母子福祉、ごみ、し尿など	52-1111

宮若市民憲章

宮若市歌「輝くふるさと」

私たちの宮若市は、緑輝く自然や誇りある歴史を先人より受け継いできたまちです。

このまちを愛する私たちは、将来の夢や希望を実現できる「輝くふるさと」を目指し、ここに市民憲章を定めます。

- 一 みどり豊かな自然を愛し、美しいまちをつくりまします。
- 一 歴史と伝統に学び、文化の薫り高いまちをめざします。
- 一 互いに助けあい、やすらぎのあるまちをめざします。
- 一 活力に満ちた産業を育み、働きやすいまちをつくりまします。
- 一 ふるさとを愛し、誇れるまちをつくりまします。

安らげる人がいる 癒される緑がある

そして輝く 歴史がある

宮若市温かいふるさと

宮若市輝くふるさと

さあここへお出でよ

共に輝く未来を築こうよ

風が優しさを連れてくる

水が命を授けてくれる

人は思いやりに溢れ 街は喜びに包まれる

そんな街だよ 大好きな街だよ

君と一緒に見つめたい 歴史と夢と未来を

安らげる人がいる 癒される緑がある

そして輝く 歴史がある

宮若市温かいふるさと

宮若市輝くふるさと

さあここへお出でよ

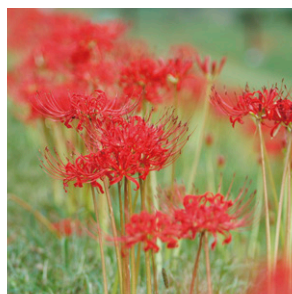
共に輝く未来を築こうよ

輝くふるさとを築こうよ



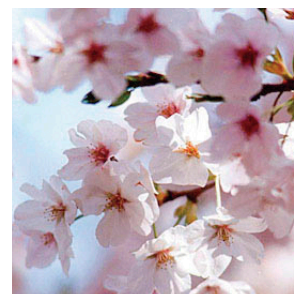
市章

「み」の文字をモチーフに、市民が明るく輝き、飛躍している様子を表しています。



市の花・彼岸花

どんな天候でも花を咲かせ、堅実な歩みを目指す宮若市を表しています。



市の木・桜

河川敷や公園などに植えられ、市民の皆さんに親しまれています。



宮若市役所 秘書政策課 政策推進係

〒823-0011 福岡県宮若市宮田29番地1

TEL 0949 (32) 0512

FAX 0949 (32) 9430

URL <https://www.city.miyawaka.lg.jp/>

E-mail seisaku@city.miyawaka.lg.jp